

# ちば 県議会だより

NO.134

党派別議員数

自民党	56人
民主党	17人
公明党	7人
共産党	4人
市民ネット・社民・無所属	4人
みんなの党	4人
千葉県民の声	1人
無所属の会	1人
開拓	1人
定数95人	現員95人
(平成24年4月16日現在)	

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行/千葉県議会 編集/千葉県議会議務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話043 (223) 2523 ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>



伊藤和男議長から表彰状を授与

## 千葉県議会 児童・生徒表彰

開会日、会議に先立ち、千葉県議会児童・生徒表彰が行われました。

この表彰は、学芸及びスポーツの全国大会において最優秀の成績をおさめた県内の学校に在籍する児童・生徒(団体を含む。)に贈られるもので、61個人、24団体に議長から表彰状が授与されました。(受賞者一覧を3面に掲載。)

## 二月定例会県議会のあらまし

二月定例会県議会は、二月十七日に招集され、三月十六日までの二十九日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、平成二十四年度千葉県一般会計予算等の議案九十一件、報告三件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

二月二十三日から六日間にわたり行われた代表質問及び一般質問は、二十二名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、教育問題、医療・福祉対策、雇用問題、防災対策等について活発な議論が展開されました。

さらに、三月五日から七日までの三日間にわたり、予算委員会が開催され、平成二十四年度予算について審査されました。

各常任委員会は、三月八日から十三日まで開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

最終日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案については原案のとおり可決されました。

次に、知事から人事案件二件が追加上程され、採決の結果、原案のとおり同意されました。

その後、議員発議案(意見書等)については、三十六件のうち十七件を可決し、今定例会議に付議されたすべての案件の審議を終了しました。

## 予算委員会



予算委員会(委員27名)が3月5日から7日までの3日間にわたり開催され、平成24年度予算議案の審査が横断的、多角的に行われ、関連する県政の諸課題について一問一答方式により活発な議論が展開されました。

### 2月27日(月)



共産党  
丸山 慎一 議員



みんなの党  
佐藤 浩 議員

### 2月24日(金)



市民ネット・社民・無所属  
入江 晶子 議員



公明党  
阿部 俊昭 議員

### 2月23日(木)



民主党  
横堀 喜一郎 議員



自民党  
阿部 紘一 議員

## 代表質問

※質問項目は、紙面の都合上一人六項目以内で掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

- 財政問題
- 震災対策
- 防災体制の強化
- 放射性物質対策
- 子ども医療費助成事業
- 教育問題

- 地域防災計画
- 医師・看護師不足
- 労働問題
- 工業団地
- 道路問題
- 教育問題

- 放射能問題(県有地除染)
- 災害時の燃料供給・通信手段確保
- 高校生修学支援基金
- 大震災と教育立県ちば
- 障害者雇用対策
- 自転車の交通安全対策

- 予算編成の透明性
- 八ッ場ダム
- 東金九十九里地域医療センター
- DV防止・被害者支援策
- 工「テック産廃処分場問題
- 県立学校施設の安全性

- いじめ問題
- 振り込み詐欺
- 成田空港の活性化
- 防災対策
- 大都市制度
- 東葉高速鉄道

- 「社会保障と税の一体改革」と衆議院比例定数削減問題
- 液化化対策と放射能除染
- 八ッ場ダム建設
- パナソニック茂原工場閉鎖問題
- 企業立地補助金
- 子ども医療費助成など来年度の福祉予算
- 県立大原高校、岬高校、勝浦若潮高校の統廃合計画

ちば県議会だより

代表質問から



財政

平成二十四年度当初予算は、どのような基本方針のもとで何に重点をおいて編成したのか。

- 平成二十四年度当初予算は、総合計画「輝け！ちば元気プラン」実施計画の総仕上げの年であること... 千葉の実現を目指すとともに、東日本大震災からの復旧・復興に取り組み、災害に強い元気な千葉県づくりに一層推進することを基本的な考え方として編成し、具体的には、①移動交番車五十台、専従警察官百名体制の整備... ②子ども医療費助成の入院助成対象を中学校三年生まで拡大... ③私学助成の県単独上乘せ補助の引き上げ... ④中小企業振興資金の融資枠拡大... ⑤海外でのトップセールス、モニターツアーの実施による観光客の誘致... ⑥「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金二十億円の交付... ⑦被災者住宅再建支援金制度二年間延長... ⑧ゲルマニウム半導体分析装置整備による放射能監視体制の強化などの事業を計上した。

今後の中長期的な財政運営にどう取り組んでいるのか。

平成二十四年度当初予算は、歳入の確保と歳出の抑制に加え、基金や退職手当債の活用により財源を確保した。しかし、社会保障費等の義務的経費の増加が今後も見込まれる一方、

財源として活用可能な基金は平成二十四年度までに大部分を取り崩す予定であることから、県財政は引き続き厳しい状況が予想される。そのため、経済の活性化による税収の増加を図るとともに、事務・事業の見直しや定員適正化により歳出抑制に取り組むこと、あわせて、財政の弾力性確保のために、財政調整基金の増強や建設地方債の残高抑制を図ることなどにより、引き続き健全な財政運営に努めていきたい。

防災計画

地域防災計画修正の基本方針のポイントは何か。

- 計画修正の基本方針は、東日本大震災の教訓等を踏まえ、県民や、防災関係機関に、地域防災計画修正の方向性を早期に示すことを目的として策定した。基本方針では、①津波対策におけるハード・ソフト対策の連携... ②液状化に強いまちづくりの推進... ③民間のノウハウを取り入れた支援物資供給体制の構築... ④避難時及び避難所における災害時要援護者等対策の推進などに取り組む。

基本方針に基づいて計画の修正原案を作成し、市町村等の関係機関、議会、県民からの意見を聞いたうえで、これまでのスケジュールを前倒し、平成二十四年夏までに、計画の見直しを行っていく。

子ども医療費

子ども医療費助成事業について、平成二十四年度に入院の助成対象を中学三年生まで拡大しようとする目的は何か。

子ども医療費助成事業は、子どもの保健対策の充実と保護者の経済的負担の軽減を目的として実施しており、これまで、市町村や医師会等関係団体の協力を得ながら、事業の充実を図ってきた。平成二十二年十二月には、病気に

- ①小学校高学年から中学生も、重篤な病気になる入院が減少しないため、保健対策上の必要性が高いこと... ②医療費が高額となるため、保護者の経済的負担軽減の必要性が高いこと... ③小学校高学年から中学生も、重篤な病気になる入院が減少しないため、保健対策上の必要性が高いこと... ④医療費が高額となるため、保護者の経済的負担軽減の必要性が高いこと... ⑤検査頻度など、運用面での取り扱いが示されていない... ⑥精度の高い検出器は高額な外国製で入手が困難なうえ、重量物であり、設置場所の整備が必要... ⑦優先して検査すべき対象品目や検査頻度など、運用面での取り扱いが示されていない... ⑧このような状況から、県では、情報収集に努めるとともに、国の動向に注視しつつ、当面は衛生研究所及び農林総合研究センターに整備したゲルマニウム半導体検出器を十分に活用し、計画的にできる限りの対応をしていく。

看護師不足

県内の看護師養成機関の数、年間の養成数、指導者数はどうなっているのか。

また、養成数や指導者数を増やすために、県は、どのような取組を行っているのか。

平成二十三年四月一日現在における県内の看護師養成機関は三十六校で、一年年の入学定員は二千三百六十七人、専任教員数は五百七十一人となっている。県では、これまで看護師養成機関に対して、施設・設備の整備費や運営費に対して助成を行うとともに、教員養成のための講習会を開催し、看護師養成体制の強化を図ってきた。さらに、平成二十四年度は、地域

放射性物質

食品の放射性物質検査体制の強化について、県としてどのように取り組んでいくのか。

平成二十四年四月から適用される新たな基準値に的確に対応するためには、①簡易検出器では基準値の厳しい飲料水や牛乳などには対応できない... ②精度の高い検出器は高額な外国製で入手が困難なうえ、重量物であり、設置場所の整備が必要... ③優先して検査すべき対象品目や検査頻度など、運用面での取り扱いが示されていない... ④このような状況から、県では、情報収集に努めるとともに、国の動向に注視しつつ、当面は衛生研究所及び農林総合研究センターに整備したゲルマニウム半導体検出器を十分に活用し、計画的にできる限りの対応をしていく。

圏央道

平成二十四年度が開通目標となっている圏央道の東金・茂原・木更津間の進捗状況はどうか。

首都圏中央連絡自動車道は、東京湾アクアライン等と一体となつて、地域経済の活性化や観光立県千葉の実現を図るうえで極めて重要な道路である。東金から木更津間の四十二・九キロメートルは、用地取得が完了しており、現在、平成二十四年度の開通

復旧・復興

津波対策として、新たに「千葉東沿岸海岸保全基本計画」の見直しを行うことだが、どのような内容か。

県では、東日本大震災の津波被害を踏まえ、学識者、海岸利用者沿岸市町村長からなる委員会を設置し、「千葉東沿岸海岸保全基本計画」の見直しを進めている。現在、旭市から一宮町にかけての九十九里浜沿岸においては、数十年から数十年に一度発生する津波に対する防護を行うこととして、高さを現在の四メートルから二メートル高い、概ね六メートルとする方向で検討している。今後、年度末までに計画を見直し、平成二十四年度から速やかに防護施設の整備を進めていく。

教育

県立学校改革推進プランの第一次実施プログラム(案)は、どのような考え方で作られたのか。

県教育委員会では、策定懇談会での協議や関係団体などの意見等を踏まえ、厳しい社会の中でも常に志を持ってたくましく生きる力や倫理観、望ましい勤労観・職業観等をはぐくむ教育の推進など、今後の高校改革の考え方を示した県立学校改革推進プランの最終案を作成した。

また、プランに基づき実施する具体計画も検討を進め、自立した人材の育成や多様な地域性への対応など、本県県立高校を取り巻く状況や課題等に対応するため、新たなコースの設置や専門教育の拠点校など、早期に実施すべき計画を第一次実施プログラムの案としてまとめた。具体的には、不足する人材の育成などを視野に入れた教員基礎コースや医歯薬コースの設置、表向地域の中学校卒業生数の減少や学校の小規模化等に対応するための統合案などを示した。

振り込め詐欺

振り込め詐欺の発生状況はどうか。また、警察ではどのような防止対策を講じているのか。

平成二十三年中の本県の振り込め詐欺の発生件数は七百五十七件で、東京都、神奈川県に次いで全国三番目、被害額は約十二億七百万円である。また、今年に入り、振り込め詐欺の発生は高止まりであり、現金やキャッシュカードを直接受け取りに来る手口のオレオレ詐欺、行政機関をかたる医療費還付金詐欺も多発している。警察では、通報者の協力を得て、現場での検挙活動に加え、振り込め詐欺の発生を防止するため、①知事のビデオメッセージを活用した広報啓発活動... ②知事参加による街頭キャンペーンの実施... ③金融機関への声掛け等の働きかけ... ④年金支給日におけるATMの集中警戒

また、平成二十四年一月四日から、「振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター」を発足させ、県民に電話で情報提供や注意喚起を促す活動も展開している。

可決・同意された議案

- 平成二十四年度予算関係(二十三件)
▽一般会計(一件)
▽特別会計(二十二件)
平成二十三年度補正予算関係(二十三件)
▽一般会計(一件)
▽特別会計(二十二件)
◆条例の制定(二件)
▽千葉県排水及び特定地下浸透水の汚染状態の測定の回数等を定める条例
▽鳥獣保護区等の標識の寸法を定める条例
◆条例の一部改正(三十七件)
▽職員給与に関する条例
▽職員の特種勤務手当に関する条例
▽千葉県職員定数条例
▽千葉県行政組織条例
▽千葉県県税条例
▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
▽使用料及び手数料条例
▽千葉県屋外広告物条例
▽千葉県福祉のまちづくり条例及び千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンター設置管理条例
▽千葉県高等学校等支援臨時特別基金条例
▽千葉県ちば県民共生センター設置管理条例
▽千葉県社会福祉施設等耐震化等臨時特別基金条例
▽千葉県地域自殺対策緊急強化基金条例
▽千葉県宮城がんとフクチン接種緊急促進臨時特別基金条例
▽総論的な提供の推進に関する法律施行条例
▽千葉県健康診査支援基金条例
▽千葉県介護基盤整備等臨時特別基金条例
▽千葉県旭ヶ浦福祉センターの設置及び管理に関する条例
▽千葉県千葉リハビリテーションセンター設置管理条例
▽障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例
▽千葉県障害者自立支援対策及び福祉・介護人材確保対策臨時特別基金条例
▽千葉県介護職員処遇改善等臨時特別基金条例
▽千葉県自然公園条例
▽千葉県県営住宅設置管理条例
▽千葉県県営教育審議会条例
▽教育機関設置条例
▽千葉県県立学校職員定数条例



総務防災常任委員会

「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金について、配分基準などの考え方は、どうなっているのか。

今回の復興交付金は、実施した事業に対する、いわゆる補助金のような考え方ではない。十年間程度の長期間の、復興関係におけるソフト経費として、客観的な指標により配分している。

また、事業の計画や報告を市町村に対して求める場合には、事務負担がなるべくかからないよう、簡便な形にしていきたい。

総合企画水道常任委員会

水道水に含まれる放射性セシウム

ウムの放射線量について、四月から管理目標値が一キログラム当たり十ベクレル以下に設定されることから、現在の検査を見直す必要があるのではないか。

健康福祉常任委員会

管理目標値の設定に伴い、検査精度を高めるため、検査する水量を多くして行うこととし、今年二月一日から前倒しして取り組んでいる。

平成二十四年度、県民や施設管理者の自主的な取り組みを促す啓発や新たに施設ごとに分煙、禁煙の表示をすることなどにより、受動喫煙の機会の減少を図るなど、対象施設等の自主的・勧奨的な事業を促す取り組みを推進していく。

その後、その効果を評価しつつ、県としての方針を決定していく。

環境生活警察常任委員会

長崎県西海市で発生した女性二名殺人事件について、県警の総括としては組織での対応に不備があったということなので、今後は、ストーカー事案の通報があつてから逮捕に至るまでの過程のマニュアルを作る必要があるのではないか。

農林水産常任委員会

他都道府県警察との連携の時期や内容に関するマニュアル等を作成し、連携に齟齬を生じさせることのないように努めていきたい。

青年就農者確保・育成給付金は、農業後継者のみを対象としてだけでなく、農業未経験の新規就農者の確保にも取り組んでいくのか。

本事業は、主に新規就農者確保のための事業であり、就農予定者が農業技術等を習得するための研修を受講する二年間、また就農直後の経営が不安定な五年間について給付金を支給するものである。

県土整備常任委員会

公共基準点改定事業について、東北地方太平洋沖地震による県内の地殻変動の状況はどうか。

文教常任委員会

県立学校の除染の今後のスケジュールはどうか。

除染についてはサンプリング調査による検証結果を踏まえ、工法等を決定し、準備が整い次第特別支援学校を優先し、その後、高等学校、社会教育施設などを順次実施することとしている。

平成23年度 千葉県議会 児童・生徒表彰受賞者

Table with columns for school names, names, and award categories. Includes schools like 市原市立姉崎小学校 and 野田市立木間ヶ瀬小学校.

※3月28日に新たに3個人・4団体が表彰されました。

可決された意見書・決議 and 採択された請願. Lists various resolutions and petitions regarding environmental issues, education, and infrastructure.

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、紙面の都合上、一人四項目まで掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

二月十七日(月)



亀田 郁夫 議員 (自民党)

生涯大学校  
看護師確保対策  
在宅医療の推進における薬剤師のかかり等  
海岸の保安林

二月十八日(火)



関 政幸 議員 (自民党)

飛行ルート変更に伴う騒音問題  
企業誘致推進のための補助金事業  
統一リゾート(来年度予算・成田市以外の県内候補地基礎調査)



横山 秀明 議員 (公明党)

若者雇用対策  
動物愛護  
災害時における県内全域の水道復旧対策  
東葉高速鉄道



山本 義一 議員 (自民党)

防災・防犯に強い千葉県

子ども医療費助成  
教育問題  
道路問題



中田 学 議員 (民主党)

保育所の機能充実  
放射能問題  
道の駅の防災拠点化  
筑輪青葉台線の進捗と延伸



今井 勝 議員 (自民党)

建設行政  
手賀沼の環境  
子ども医療費の無料化等  
雇用対策

二月十九日(水)



木下 敬二 議員 (自民党)

TPP  
農業問題  
水産業の振興  
身体障害者等の入所施設



岩井 泰憲 議員 (民主党)

身体障がい者の助けとなる補助犬の普及  
介護保険法改正に伴う県の対応  
地域の道路問題  
栄町の崖崩れ対策



木村 哲也 議員 (自民党)

人口減少経済  
教育行政  
政策評価  
インフラ整備



網中 肇 議員 (民主党)

県職員のメンタルヘルス対策  
県に事務局をおく団体の事務執行の適正化  
上下水道料金の一括徴収の実現  
車両盗難の取締り強化



石橋 清孝 議員 (自民党)

農産物の輸出  
東金九十九里地域医療センター  
救急車  
地震対策

三月一日(木)



坂下 しげき 議員 (自民党)

予算計上と予算執行  
コンプライアンス・法令遵守  
業務委託に係る入札制度  
教育委員会における苦情申立て制度



中台 良男 議員 (自民党)

救急医療  
介護予防の推進

第四次千葉県障害者計画  
県道整備



矢崎 堅太郎 議員 (民主党)

知事の政治姿勢  
復興施策  
放射能対策  
動物愛護



中沢 裕隆 議員 (自民党)

県職員の管理職の削減  
震災対応  
教育行政



チーバくん



林 幹人 議員 (自民党)

観光振興  
一〇番通報  
農業の担い手支援  
グレード・アップ「ナリタ」活用戦略会議

平成24年6月定例県議会 会期及び議事・委員会予定(素案)

月日	議事予定	開議予定時間
6月12日(火)	開会 知事提案理由説明	午前10時
19日(火)	質疑並びに一般質問	//
20日(水)	//	//
21日(木)	//	//
22日(金)	//	//
25日(月)	//	//
26日(火)	//	//
28日(木)	常任委員会(環境生活警察・農林水産)	//
29日(金)	// (総務防災・県土整備)	//
7月 2日(月)	// (総合企画水道・文教)	//
3日(火)	// (健康福祉・商工労働企業)	//
6日(金)	委員長報告等 採決 閉会	午後 1時

\*本素案はおおよその日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議し最終決定します。

2月定例県議会 知事あいさつ

平成24年度当初予算案について申し上げます。  
来年度は、総合計画「輝け!ちば元気プラン」実施計画の総仕上げの年であり、「くらし満足度日本一」の実現に向け、安全・安心のまちづくりなどを一層推進します。また、引き続き、東日本大震災への対応に取り組みます。

一般会計の当初予算規模は、前年度比2.6%増の1兆6,001億800万円となり、歳入は県税の減収、歳出は社会保障費など義務的経費の大幅な増加が見込まれるため、基金の活用や退職手当債の発行などにより、必要な財源を確保しました。

総合計画の推進について申し上げます。  
一つ目は、「安全・安心のまちづくり」です。防犯活動を一層強化するため、移動交番車を増強し、専従警察官100人体制で取り組むほか、地域安全パトロール隊の拡充、「振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター」による電話での防犯指導など、犯罪の起こりにくいまちづくりに力を入れます。

さらに、緊急輸送道路などに架かる重要な橋りょうの耐震補強工事の前倒し、県立学校耐震化早期実施や私立学校耐震化を支援します。

また、(仮称)危機管理防災センターや総合防災拠点を整備するとともに、健康危機対応拠点である衛生研究所の建て替えに向けた設計を行います。

二つ目は、「医療・福祉の充実」です。ドクターヘリ格納庫を含む救命救急センターへの助成、医師・看護師確保対策、周産期母子医療センターへの助成拡充など、医療提供体制を充実させます。

さらに、がん対策として、拠点病院の機能強化や緩和ケア体制の充実、がんセンター新病棟建設計画の策定などに取り組めます。また、特別養護老人ホーム整備の助成を継続し、障害のある人の生活支援のため、グループホーム整備などに助成します。

三つ目は、「笑顔輝く子どもを育てる県づくり」です。子ども医療費助成について、来年度から入院の助成対象を中学3年生まで拡大します。

また、待機児童解消を図るため、民間保育所の整備を促進するとともに、放課後の子どもたちの生活や遊びの場確保など、市町村が行う事業を支援します。

さらに、特別支援学校の分校・分教室及び児童養護施設「富浦学園」を整備します。私立学校経常費補助は、国標準単価を措置し、高校及び幼稚園への県単独の上乗せ額を増額します。

また、不登校など問題を抱える子ども・若者を支援するため、ワンストップ相談窓口を新設し、助言や情報提供を行います。



四つ目は、「観光と魅力あふれる県づくり」です。テレビやラジオ、トップセールスなど、さまざまな手段で千葉の魅力を発信し、観光客や企業の誘致、県産農林水産物の販路拡大、本県の知名度向上につなげます。

また、トイレや駐車場など観光関連施設の整備助成や、サイクルツーリズムの拡大・定着を図るため、モデルコースの設定などを支援します。

さらに、本県の魅力を強くアピールするため、10月21日(日)には「ちばアクアラインマラソン」を開催します。加えて、グレード・アップ「ナリタ」活用戦略会議でさらなる県勢発展の方策を検討します。

五つ目は、「雇用・産業振興、交流基盤の整備」です。非常に厳しい雇用情勢を踏まえ、新卒未就職者、求職者に対する就労支援に取り組めます。

また、中小企業振興資金の融資枠を5,700億円に拡大し、中小企業の企業グループ育成や地域商業の活性化につなげる新たな支援策を検討します。

さらに、園芸農業支援や、青年新規就農者への給付金支給などを行います。また、有害鳥獣による農作物被害防止や海岸保安林の松くい虫対策、銚子・勝浦漁港の施設改修助成のほか、圏央道等広域幹線道路や地域に密着した道路の整備を進めます。

次に、東日本大震災への対応について申し上げます。放射性物質に対する県民の不安を払しょくするため、モニタリングポストや分析機器を増強します。また、市町村が実施する有料道路の無料通行券配布事業に助成し、減少した観光客の回復を図ります。

さらに、東京電力への風評被害に係る賠償請求への支援を継続し、行政経費の請求にも対応していきます。なお、放射性物質を含むごみ焼却灰については、一時保管場所の確保など、引き続き、解決に向け努力します。

そのほか、平成23年度補正予算案など、議案の概要説明がありました。